

校長のひとり言

■演題「思うは拓く」^{ひら} 講師 株式会社植松電機・専務取締役 植松 努

先月のある研究会で植松氏の講演を聴講する機会を得ました。北海道の小さな町工場から自家製ロケットを打ち上げ、宇宙開発の常識を逆転させた人物です。講演の中で印象に残ったお話は以下の通りです(一部)。

今から皆さんにお伝えしたいことは、とても簡単です。

それは「思うは拓く^{ひら}」ということです。これは中学校の時にぼくの母さんが教えてくれた言葉で、「思ったら、そうなるよ」という意味です。

【その1】

夢について、「あきらめなければ夢は叶う」すばらしい言葉です。本当のことだと思います。でもその言葉の裏にはとんでもない副作用がありました。それは「夢が叶わなかったのは、あきらめた自分が悪いんだろう」ということです。あきらめた自分を責めている。でも自分を責める必要なんてありません。なぜなら日本は変だからです。「夢」という言葉について調べてみると、アメリカの辞書には「夢とは、強く願う努力すれば実現できるもの」と書かれていました。

ところが、日本の辞書には「夢とは、はかないもの。叶わないもの」と書かれていました。実際、日本人には「あきらめた」んじゃなくて、「あきらめさせられた」人の方が圧倒的に多いのです。

自分を責める必要なんて全くありません。今、これから「自分の夢ってなんだろう」と考えてほしいのです。もしかしたら誰かに売りつけられた夢を、自分の夢だと思い込んでいるかもしれない。自分の本当の夢を、一生懸命考えてほしいのです。

小学校6年生のとき、卒業文集の「ぼくの夢、わたしの夢」というお題の作文には、「自分で作った潜水艦で、世界の海を旅したい」と書きました。ところが、職員室に呼びだされました。先生は怒って「他の子はみんな、ちゃんとした仕事のことを書いているのに、おまえだけどうしてこんなできもしない夢みたいなことを書くんだ」と言われました。「夢を書きなさい」といわれたから、素直に夢を書いたのに「夢みたいなこと書くんじゃない」と言われました。ぼくは困ってしまいました。先生によれば、「潜水艦なんて作れるわけない。すぐお金もかかるし、よっぽど頭が良くないと無理だから」なんだそうです。

今から200年以上前には、手でスクリューを回すと前に進むという、いたって簡単なものでした。そのことは、図鑑で知っていました。先生は、「潜水艦なんか作れるわけがない」の一点張りでした。僕はとても悲しくなり、考えました。実現しそうなことしか夢だといっけはないのか。では、実現するかしないかは、いったい誰が決めるのか。やったこともない人が「無理だ」と決めるのは変じゃないか。

【その2】

勉強とはなんでしょうか。誰かに点数をつけてもらうためのものなのでしょうか。いい会社に入るためでしょうか。全然違います。勉強は、社会の問題を解決するためのものです。そのため

に人類が必死に積み上げたものです。

教育とはなんのでしょうか。教育とは失敗の避け方や、責任の逃れ方や、要領のいい生き方を教えるためのものなのでしょうか。とんでもない間違いです。教育とは死に至らないよう、失敗を安全に経験させるものです。それがすっかりおかしくなったのは、失敗はマイナスだと思い込んでいる大人が増えたからです。その結果、経験を避けるようになり、自信を持ってない人間が山ほど増えてしまい、日本は国力を失いつつあります。

でも大丈夫。やったことがないことを、やりたがる人。あきらめない人。そして工夫する人。そういう人がもっと増えればいいのです。

出会う人達に夢と希望を与える必要はありません。夢と希望を、ただ奪わなければいいだけです。

現在、北海道の真ん中にある、赤平という町で小さな工場を経営し、その工場でロケットを作っておられますが、誰かに頼まれて、部品を作っているわけではないようです。ロケットをまるごと作って、人工衛星もまるごと作って、工場の従業員の手で打ち上げ、人工衛星は立派に役目を果たしているようです。敷地内には、宇宙に似た無重力状態を地上で再現する実験装置があり、これはNASAとドイツと植松さんの工場にしかないそうです。

宇宙開発をされているが、政府や企業から開発費はもらったりせず、自分たちの稼いだお金だけで運営されています。それに従業員は20人足らずで、しかもその中には大学で宇宙の勉強してきた人は1人もいないことに驚きました。

世の中に売っていない部品や装置は自分たちで工夫して作り、今では、日本のJAXAが4ヶ月くらい、植松さんの工場に来て実験しているそうです。実験装置がこの工場にしかないから来られるようです。

夢をたくさん描き叶えるエネルギー、夢をあきらめないことの大切さを強く感じた90分間でした。ありがとうございました。

編 | 集 | 後 | 記

「大きくなったら何になりたい？」みなさんも一度はきかれたことがあるのではないのでしょうか？

幼児の将来の夢ランキングを見ると、仮面ライダーやプリキュアなどキャラクターの名前があがっています（皆さんもこんな時期があったのでは!?!）。しかし、小学生の将来の夢ランキングを見るとサッカー選手だったりケーキ屋さんだったり…（ちょっと現実が見えてきたかな）。現実は厳しいですよ。夢をかなえるためにはいくつもの困難を乗り越えていかなければならないかもしれません。夢をかなえるためには少しだけ立ち止まって今、何をしたらいいのかじっくり考えることも大切です。

余談ですが、我が家の保育園児はアイドルになると言って毎日鏡の前で笑顔の練習をしています。現実気付くのはいつでしょう…。

（文責：「アイドル」のママ）